

| | | | | | |
|---|---|---------------------------------|----------------------------|-----------|------|
| 日本工学院八王子専門学校 | 開講年度 | 2019年度（平成31年度） | 科目名 | テニス教師対策 1 | |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 開設学科 | スポーツ健康学科 | コース名 | テニスコース | 開設期 | 前期 |
| 対象年次 | 2年次 | 科目区分 | 選択 | 時間数 | 30時間 |
| 単位数 | 2単位 | 授業形態 | 講義 | | |
| 教科書/教材 | 昨年度の傾向からプリントを配布。テニス教本 | | | | |
| 担当教員情報 | | | | | |
| 担当教員 | 久松 | 実務経験の有無・職種 | 有・プロテニスプレーヤー | | |
| 学習目的 | | | | | |
| 日本スポーツ協会公認テニス教師の資格試験の合格のために、筆記試験の対策としてテニス教本を基に必要な学習を行います。 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 日本スポーツ協会公認テニス教師の資格取得のために必要な筆記試験の対策を行い十分な知識を習得することを到達目標とします。 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 授業概要 | 日本スポーツ協会公認テニス教師の合格を目指し、過去の傾向から対策を考え、テニス教本を基に学習します。また現場実習として資格保有者の元で現場実習を行います。 | | | | |
| 注意点 | 15週目に授業内で筆記試験を行います。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。 | | | | |
| 評価方法 | 種別 | 割合 | 備考 | | |
| | 試験・課題 | 50% | 15週目の授業内試験にて評価します | | |
| | 小テスト | 10% | 授業内容の理解度を確認するために実施します | | |
| | レポート | 10% | 授業内容の理解度を確認するために実施します | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | 20% | 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価します | | |
| | 平常点 | 10% | 積極的な授業参加度、授業態度によって評価します | | |
| 授業計画（1回～15回） | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 各回の到達目標 | | | |
| 1回 | イントロダクション | テニス教師について理解します | | | |
| 2回 | テニスの戦術 | テニス教本に書かれている戦術を理解します | | | |
| 3回 | 戦術の基本方針 | テニス教本に記載されている基本方針を理解します | | | |
| 4回 | 現場実習1 | 資格保有者の下でアシスタントとして現場実習を行います | | | |
| 5回 | 現場実習2 | 資格保有者の下でアシスタントとして現場実習を行います | | | |
| 6回 | 発達と発達と一貫指導 | 発育と発達についてテニス教本に記載されている内容を理解します | | | |
| 7回 | 発育と発達期のトレーニング | テニス教本に記載されている発育発達期のトレーニングを理解します | | | |
| 8回 | 現場実習3 | 資格保有者の下でアシスタントとして現場実習をします | | | |
| 9回 | 現場実習4 | 資格保有者の下でアシスタントとして現場実習を理解します | | | |
| 10回 | ルールについて | テニスのルールを細部まで理解します | | | |
| 11回 | グリップの指導法 | グリップの特性とグリップに応じた指導法を学び理解します | | | |
| 12回 | 段階的テニスの指導法 | テニス教本に記載されている段階的な指導法を理解します | | | |
| 13回 | 初心者の指導法 | 初心者の初期段階の指導法を理解します | | | |
| 14回 | テニス指導の基本課題 | 指導の基本課題を理解します | | | |
| 15回 | まとめ（試験） | 全体のまとめとして試験を実施します | | | |